

2025 年 9 月 5 日

各 位

会 社 名 株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス
代表者名 代表取締役社長 野 崎 秀 則
(東証スタンダード市場・コード番号2498)
問合せ先 取締役統括本部長 橋 義 規
TEL 03-6311-6641

株式会社オリエンタルコンサルタンツ
シンポジウム「巨大複合災害への備え～被災後防災の必要性～」が
開催されました

令和7年9月1日（月）に日本危機管理防災学会主催のオンラインシンポジウム「巨大複合災害への備え～被災後防災の必要性～」が開催され、当社グループの基幹会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）は事務局を務めました。

自治体職員や防災に携わる方々を中心として、多くの方にご参加頂き、東日本大震災から15年という節目もあり、これまでの災害教訓の自分事化や巨大複合災害等における被災後防災の必要性が確認されました。

【シンポジウムの概要】

■開催趣旨

首都直下地震や南海トラフ巨大地震がもたらす巨大複合災害に備え、「複眼的防災、被災後防災、複眼的復興」の新たな発想と効果的な取組みの加速化が求められています。

そのため、本シンポジウムでは、主に「地震、津波、火災、河川氾濫の見える化」と、それによる関東大震災、阪神・淡路大震災、東日本大震災、令和6年能登半島地震の「教訓の自分事化」について、DXの活用による新たな防災・減災対策もまじえながら、議論風発することを目的に実施しました。

■シンポジウム内容

はじめに、市川宏雄 日本危機管理防災学会会長による開会挨拶の後、中林一樹 東京都立大学名誉教授による趣旨説明があり、以下の2部構成で実施されました。

そして、登壇者の皆様のご講演とパネルディスカッションを踏まえ、パネルディスカッションのコーディネーターである中林一樹 東京都立大学名誉教授より、「首都直下地震や南海トラフ巨大地震等がもたらす巨大複合災害に備え、「複眼的防災、被災後防災、複眼的復興」の新たな発想と効果的な取組みの加速化が求められている。」と総括がありました。

最後に、野崎秀則 株式会社オリエンタルコンサルタンツ代表取締役社長の挨拶で閉会しました。

【開会】

- ・開会挨拶：市川宏雄 日本危機管理防災学会会長
- ・趣旨説明：中林一樹 東京都立大学名誉教授
「巨大複合災害への備え～被災後防災の必要性～」

【第Ⅰ部】講演

- ・講演①：今村文彦 東北大学副学長・災害科学国際研究所教授
「東日本大震災などの複合災害の実態と今後の対応」
- ・講演②：加藤孝明 東京大学生産技術研究所教授／同社会科学研究所特任教授
「今後起こり得る未経験の災害様相と対策の方向性」

【第Ⅱ部】パネルディスカッション

- ・コーディネーター：中林一樹 東京都立大学名誉教授
- ・報告：中尾毅 株式会社オリエンタルコンサルタンツ 取締役 執行役員 防災事業部長・日本危機管理士機構理事
「DXの活用による地震、津波、火災、河川氾濫の見える化」
- ・パネリスト：第Ⅰ部登壇者
中尾毅 株式会社オリエンタルコンサルタンツ 取締役 執行役員 防災事業部長・日本危機管理士機構理事

【閉会】

- ・閉会挨拶：野崎秀則 株式会社オリエンタルコンサルタンツ代表取締役社長

※本シンポジウムの公開URL

<https://youtu.be/RGmKbPrv0V0>

以上

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
URL : <https://www.oriconsul.com/>
統括本部 伊藤・日原・丸山・門司

第12回 防災シンポジウム 2025

巨大複合災害への備え

～被災後防災の必要性～

(主催) 日本危機管理防災学会 × (事務局) 株式会社オリエンタルコンサルタンツ

首都直下地震や南海トラフ巨大地震がもたらす巨大複合災害に備え、「複眼的防災、被災後防災、複眼的復興」の新たな発想と効果的な取り組みの加速化が求められています。

そのため、本シンポジウムでは、主に「地震、津波、火災、河川氾濫の見える化」と、それによる関東大震災、阪神・淡路大震災、東日本大震災、令和6年能登半島地震から得た「教訓の自分事化」について、DXの活用による新たな防災・減災対策も混じえながら、議論風発したいと思います。

【趣旨説明】巨大複合災害への備え
～被災後防災の必要性～

東京都立大学名誉教授
中林 一樹



【講演①】東日本大震災などの
複合災害の実態と今後の対応

東北大学副学長・災害科学国際研究所教授
今村 文彦



【講演②】今後起こり得る未経験の
災害様相と対策の方向性

東京大学生産技術研究所教授・
同社会科学研究所特任教授
加藤 孝明



【報告】DXの活用による地震、津波、
火災、河川氾濫の見える化

株式会社オリエンタルコンサルタンツ取締役
執行役員 防災事業部長・日本危機管理士機構理事
中尾 毅



2025
9.1 (月)
13:30
16:30

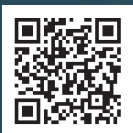
参加無料

先着順 定員 500 名 申込不要

Zoom「みらくるTV」での開催です。
下記URLか二次元コードよりご参加ください。

みらくるTVスタジオ スタジオコード:39

※半角数字です



<https://us02web.zoom.us/j/3782787584>

開
会

■ 13:30 開会
【開会挨拶】市川 宏雄
日本危機管理防災学会会長

I
部

■ 13:35～ 【趣旨説明】中林 一樹
東京都立大学名誉教授
■ 13:55～ 【講演①】今村 文彦
東北大学副学長・災害科学国際研究所教授
■ 14:25～ 【講演②】加藤 孝明
東京大学生産技術研究所教授・
同社会科学研究所特任教授
■ 14:55～ 休憩

II
部

■ 15:10～ 【報告】中尾 毅
株式会社オリエンタルコンサルタンツ取締役
執行役員 防災事業部長・日本危機管理士機構理事
■ 15:25～ 【ディスカッション】
コーディネーター兼パネリスト: 中林一樹
パネリスト: 今村文彦・加藤孝明・中尾毅

閉
会

■ 16:25～ 【閉会挨拶】野崎 秀則
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
代表取締役社長
■ 16:30 閉会



【開会挨拶】
市川 宏雄



【閉会挨拶】
野崎 秀則

■ みらくるTV事務局 ✉ koenado@googlegroups.com

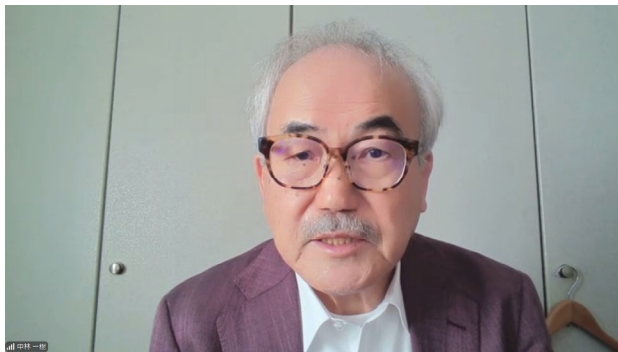
■ 日本危機管理防災学会事務局 ✉ crisismt@meiji.ac.jp ■ 株式会社オリエンタルコンサルタンツ事務局 ✉ bosai_sympo2025@oriconsul.com

【当シンポジウムは第13回首都防災ウィーク（主催:首都防災ウィーク実行委員会 代表:中林一樹/東京都立大学名誉教授）の一環です】

※今年の首都防災ウィークは、東京都慰霊堂、九段小学校、オンラインにて、8月17日～9月1日に実施します。（プログラム: <https://shutobo.net/>）

【シンポジウムの様子】

■趣旨説明



中林一樹 東京都立大学名誉教授

第12回 防災フォーラム
主催：危機管理防災学会＋オリエンタルコンサルタンツ
【趣旨説明】
巨大複合災害への備え
主旨説明－複眼防災・被災後防災・複眼復興－
2025年9月1日
東京都立大学・首都大学東京 名誉教授
首都防災ウィーク実行委員会代表
なかばやし いつき
中林一樹

■第Ⅰ部：講演



【講演①】今村文彦 東北大学副学長・災害科学国際研究所教授

第12回 防災シンポジウム2025
複合災害への備え
**東日本大震災などの複合災害
の実態と今後の対応**
東北大学災害科学国際研究所
副学長 津波工学教授
今村文彦
TOHOKU UNIVERSITY <http://ides.tohoku.ac.jp/> IRiDeS



【講演②】加藤孝明 東京大学生産技術研究所教授／同社会科学研究所特任教授

「今後起こり得る未経験の災害様相と対策の方向性」
～地震火災による市街地延焼～
1. 東京が抱える市街地延焼リスクは、極めて大きい。
2. 社会の市街地延焼リスクを過小に認識している可能性が高い。
3. 社会のリスク認識を是正する必要がある。
4. 市街地延焼被害は不確実性が極めて高い。
加藤孝明
東京大学生産技術研究所・教授／東京大学社会科学研究所・特任教授
(まちづくり、都市計画、地域安全システム学、防災)

■第Ⅱ部：パネルディスカッション



報告：中尾毅
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
取締役 執行役員 防災事業部長
・日本危機管理士機構理事



ディスカッションの様子

■開会挨拶



開会挨拶：市川宏雄
日本危機管理防災学会会長

■閉会挨拶



閉会挨拶：野崎秀則
株式会社オリエンタルコンサルタンツ 代表取締役社長